

Course number		U-LAS54 10001 LJ45					
Course title (and course title in English)		ジャーナリズムの最前線 Front Line of Contemporary Journalism		Instructor's name, job title, and department of affiliation		Graduate School of Letters Professor, KITA CHIGUSA	
Group		Career Development		Field(Classification)		Other Career Development Courses	
Language of instruction		Japanese		Old group		Group A	
Number of weekly time blocks		1		Class style		Lecture (Face-to-face course)	
Year/semesters		2024・Second semester		Number of credits		2	
Days and periods		Tue.3		Target year		All students	
Eligible students		For all majors		Field(Classification)		Other Career Development Courses	
[Overview and purpose of the course]							
<p>若者の活字離れが進むなかで、メディアをとりまく状況が激変しつつある。ネット媒体におされ、日本の新聞をとりまく環境も厳しさを増している。一方、今だからこそジャーナリズムの必要性を再認識し、その役割を再構築するべきだという声もある。権力監視の機能や、国民の権利を守り健全な論評と正確な事実の掘り起こしをなす機能は、現代においてどうあるべきなのか。朝日新聞社の協力を得て、取材現場の最前線で仕事する記者たちを招き、現代ジャーナリズムが抱えている諸問題について考えてもらう。同時に文章を読み込むこと、活字媒体に慣れ親しむことの意義も深め、読み解く力を総合的に身につける内容にしたい。</p> <p>本講義で言うところの「ジャーナリズム」は、おもに新聞ジャーナリズムだが、新聞ジャーナリズムの特性を学ぶことで、映像ジャーナリズム（テレビやネット媒体など）に関心のある者にも、比較という視点を提供する。</p>							
[Course objectives]							
<p>身近な文化装置であるメディアの現場からの声を聞くことで、メディアを読み解き活用する能力＝メディアリテラシーを身につけることができる。授業においては、可能な限り出席者と報告者との討論の時間を設定することで、聞く力とともに質問し問題発見できる力を養うようにする。</p>							
[Course schedule and contents]							
<p>すべてZoomを利用してオンラインでライブ授業を行う。</p> <p>何らかの理由で参加できなかった受講生のために、メインの講義部分の音声記録を木曜日まで（3日間）は公開する。レスポンスの提出（「フォーラムへの書き込み」）は記録公開期間内は受け付けるが、ライブで授業に参加できなかった理由も書き添えること。</p>							
<p>第1回 10月6日      ガイダンス</p> <p>第2回 10月13日    新聞社の仕事 / 記者は何をしているのか</p> <p>第3回 10月20日    マイノリティと政治</p> <p>第4回 10月27日    調査報道について</p> <p>第5回 11月10日    コラムニストの仕事</p> <p>第6回 11月17日    「地球異変」シリーズ</p> <p>第7回 11月24日    新聞の編集者 / ニュースの価値判断</p> <p>第8回 12月1日     米大統領選挙をめぐる</p> <p>第9回 12月8日     子どもへの性暴力</p> <p>第10回 12月15日   デジタル時代のジャーナリズム</p> <p>第11回 12月22日   コロナ禍と向き合う</p>							
<div style="text-align: right;">Continue to ジャーナリズムの最前線(2)</div>							

## ジャーナリズムの最前線(2)

第 1 2 回 1月5日 新聞社のカメラマン  
第 1 3 回 1月12日 女子組 / おとなの保健室  
第 1 4 回 1月19日 核と世界

ゲストスピーカーは現役の記者であるため、諸事情により講義予定は変更になる可能性がある。  
前回のフィードバックは総評をPandAに掲載する。これに対する質問は随時PandAを通じて受け付ける。

### [Course requirements]

None

### [Evaluation methods and policy]

各回の授業では、講義の終わりにPandAの「フォーラム」に感想の記入を求める。この「フォーラム」への参加とZoomの接続記録で「出席と参加の状況」を判定し、さらに書き込んだ内容も加味して評価する。

評価に占める割合は、「出席と参加の状況」が40%、「書き込みの内容」が60%である。

### [Textbooks]

毎回レジュメや教材（新聞記事など）を配布する

### [Study outside of class (preparation and review)]

つねに新聞や総合雑誌などに目を通し、現在起こっている社会的・経済的・政治的事件についての知識を身につけておくことが、講義内容を理解する上で、望ましい。

### [Other information (office hours, etc.)]

この講義はオンラインで行う。PandAからZoomミーティングに入ること。また、PandAを利用して授業連絡を行い、質問等も行えるよう設定する。

### [Courses delivered by instructors with practical work experience]

(1) Category

An omnibus course delivered by invited lecturers and guest speakers from different companies, etc.

(2) Details of instructors' practical work experience related to the course

講師はいずれも大手新聞社に所属するジャーナリストである。

(3) Details of practical classes delivered based on instructors' practical work experience